

# 平成 30 年の大阪経済

## —大阪経済の回復は緩やかに—

商工労働部（大阪産業経済リサーチ&デザインセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、平成 30 年の年間の経済動向を『平成 30 年のおおさか経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

平成 30 年の大阪経済は、緩やかな回復基調にあったが、6 月の大阪府北部地震や 9 月の台風 21 号の影響により消費が弱含んだ。輸出は、関空閉鎖の影響もあり 9 月には落ち込み、10 月に持ち直したものの、中国経済の減速、米中貿易摩擦の下で減速した。こうしたことから、年末における大阪経済の回復は緩やかであった。完全失業率は低い水準で推移し、就業者数が増加するなど、雇用は引き続き堅調に推移した。

### 【目次】

#### 要約

#### 第 1 章 大阪経済の回復は緩やかに

1. 国内経済は回復基調の下で一進一退の動き
2. 大阪経済は自然災害により落ち込んだものの、緩やかな回復が続く
3. 需要は回復が続いたが、年末に緩やかに
4. 生産は 4～6 月期から回復の勢いを失うも、雇用は堅調に推移
5. 企業活動は横ばいで推移
6. 自然災害の企業活動への影響

#### 第 2 章 平成 30 年の経済動向

##### 第 1 節 需要は回復傾向が続いたが、年末に緩やかに

1. 個人消費は堅調に推移したが後半やや弱含み
2. 住宅投資は持ち直しの動き
3. 民間設備投資は回復傾向が続く
4. 輸出入額は、2 年連続で増加したが年末は減少に転じた
5. 観光は日本人旅行者の不振に加え、年後半から外国人旅行者も失速

##### 第 2 節 生産は弱い動きとなるものの雇用は改善傾向が続く

1. 生産活動は下降基調で推移
2. 雇用は改善傾向が続く
3. 消費者物価はやや上昇、企業物価は上昇
4. 企業倒産件数は 2 年ぶりの減少

#### 第 3 章 平成 30 年の企業動向

##### 第 1 節 企業の業況は緩やかに回復が続く

1. 企業の業況判断は緩やかではあるが回復基調
2. 営業利益は緩やかな改善が継続、資金繰りも堅調に推移
3. 雇用をめぐる企業動向に変化の兆し

##### 第 2 節 中小企業の業況は横ばい

1. 出荷・売上高及び営業利益は横ばい
2. 受注・販売は、業種によりまだら模様だが、概ね横ばいで推移

#### 主要経済指標